

インドにおける日本留学フェア（8/8-8/12までの状況報告）

日本留学フェア日程と参加機関：

- 8/8-9 University of Mysore Indian JSPS Alumni Association主催 7th India-Japan Science Seminar
- 8/10 @インド理科大学院 (IISc, Bangalore) ・ ・ 在インド日本大使館、在ベンガルール領事事務所・ JICA ・ 日立インド 研究開発センター ・ 東京大学 ・ 新潟大学 ・ 北海道大学
- 8/11 @Delhi Public School, Bangalore East ・ ・ 東京大学 ・ 新潟大学 ・ 北海道大学 ・ 立命館アジア太平洋大学
- 8/11@National Public School, Indiranagar ・ ・ 東京大学 ・ 新潟大学 ・ 北海道大学 ・ 立命館アジア太平洋大学
- 8/12@Bishop Cotton Girls' School（同男子校もこれに参加） ・ ・ 東京大学 ・ 北海道大学 ・ 立命館アジア太平洋大学

1) 8月8-9日 インドJSPS同窓会シンポジウム（マイソール）

州立マイソール大学で第7回インドJSPS同窓会シンポジウム～International Conference on Science and Technology: Future Challenges and Solutions (STFCS-2016)～が開催されました。資料参加大学は18校で、東京大学と立命館大学がブース対応を行い、主賓は北海道大学の上田理事・副学長でした。

JSPSによると、ホストであるマイソール大学の創立100周年にあたり、若手研究者や学生対象のポスタープレゼンテーションが設けられ、ポスター参加者は381組、来場者については当初の予想400名（教職員、研究者、学生含む）を大幅に上回る600名以上の参加があり、過去最大規模のシンポジウムとなったとのことでした。大学ブースの資料も2日目の午前中には、ほぼ配布が終了している状況だったとのこと。大学院プログラムや奨学金について熱心に情報収集している姿も多く見られ、今後、このような機会を活用した日本留学フェアを企画開催することも計画したいと思案中です。



インドJSPS同窓会シンポジウム
(JSPS提供)

2) 8月10日 インド理科大学院（バンガロール）

インドNo.1の研究大学で初の留学フェアを丸一日のセミナーとして産官学で開催することができました。主賓は河上淳一領事事務所所長でした。プログラムは、主賓を囲んだ全体会で始まり研究発表合計7件（日本側4件とIISc側3件）を行いました。

インド理科大学院と共同研究開発を行う日立インド社の研究発表、新潟大学のクマール先生、東京大学のニールム先生による日本留学の経験

を基にした研究発表、インド工科大学で教鞭をとる片岡先生の発表で午前セッションを終えました。

昼食後、午後は日本への留学・研究説明会を行い、参加3大学と在インド大使館児玉書記官がそれぞれプレゼンを行いました。

日本留学に関する個別対応も行い、前日のJSPSイベント主催者ご一行も駆け付けてくれました。

このフェアは当初、半日で計画していたところ、共催者であるIISc ASOKAN教授・学科長（(Department of Instrumentation and Applied Physics) JSPS岐阜大学ポスドク）の格別のお計らいを頂きました。

インド理科大学院での大学紹介ブース



インド理科大学院での登壇者一同

参加者数：

8/10	IISc学生	184
8/11 (AM)	高校生	111
8/11 (PM)	高校生	221
8/12	高校生	77

3-1) 8/11午前 Delhi Public School, Bangalore East 高校訪問（バンガロール）

12年生の（生徒全員）111人とカウンセラー、日本語教師の方が参加しました。学生達にはお行儀よく真面目に説明を聞いて頂き、当方訪問に対して誠意を感じました。

本イベント参加機関であるラーニングシステム社は今年、同校の校長先生をご夫妻で日本に招待しています。日本語教育を行っている同校は、姉妹校が5校（バンガロール南校、同東校、同北高、マイソール校、エレクトロシティー校）あり、生徒数約2万人を擁します。

毎年、日本に生徒数10人規模で日本視察旅行を行っており、山口大学教育学部関係者がホームステイを含めこの高校生を歓迎しています。同校から立命館APUIに留学生がいます。ラーニングシステム社は、2018年にも校長先生を日本へ招待する予定です。



興味を持って説明を聴く学生達、眼が輝いていました

3-2) 8/11午後 National Public School, Indiranagar 高校訪問（バンガロール）

12年生・11年生（生徒全員）221人と校長先生とカウンセラーの方が参加しました。

2013年2月に校長先生日本へ招待しており、今回も関係を深めるよい機会となりました。

同校の卒業生で東北大学で宇宙工学を学ぶ留学生（4年生）がいます。来年3月卒業予定で日本での就職を希望しているとのこと。

4) 8/12午前 Bishop Cotton Girls' School and Bishop Cotton Boys' School 高校訪問（バンガロール）

Bishop Cotton Girls' School にて同校男子校生徒との合同説明会を開催しました。学校行事が重なり、規模は小さくなりましたが、日本に興味のある学生を集めて開催しました。男子校から12年生が17人、女子校から12年生60人が参加しました。

この女子校から九州大学にCivil Engineering専攻で留学、現在留学生会の会長をしている学生がいます。

下記のVOICEの投稿をご参照ください。

Message from Ms. KRISHNAMURTHI RAJASAN-KARALINGAM ISWARYA

<http://www.indiaoffice.dir.u-tokyo.ac.jp/whyjapan/documents/message46.htm>

同校との関係は、2013年2月に校長先生を日本へ招待したことから始まり、2014年には日本留学フェアを開催（男子校）しました。



立命館アジア太平洋大学のMr. Bishnu 氏による大学紹介の様子

また、平成27年度、28年度スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒発表会の日本招待参加校（男子校）であり、ロボット教育（ラーニングシステム社）を実施中です。